

IBM/Technical Newsletter

当版 TNL	No.	N:SN18-2659
日付		1989年5月15日
該当資料	No.	N:SC18-2175-2
ファイル	No.	なし
既版 TNL	No.	N:SN18-2617 N:SN18-2603

IBM パーソナルシステム/55™
日本語 DOS ユーザーズ・ガイド 参照編

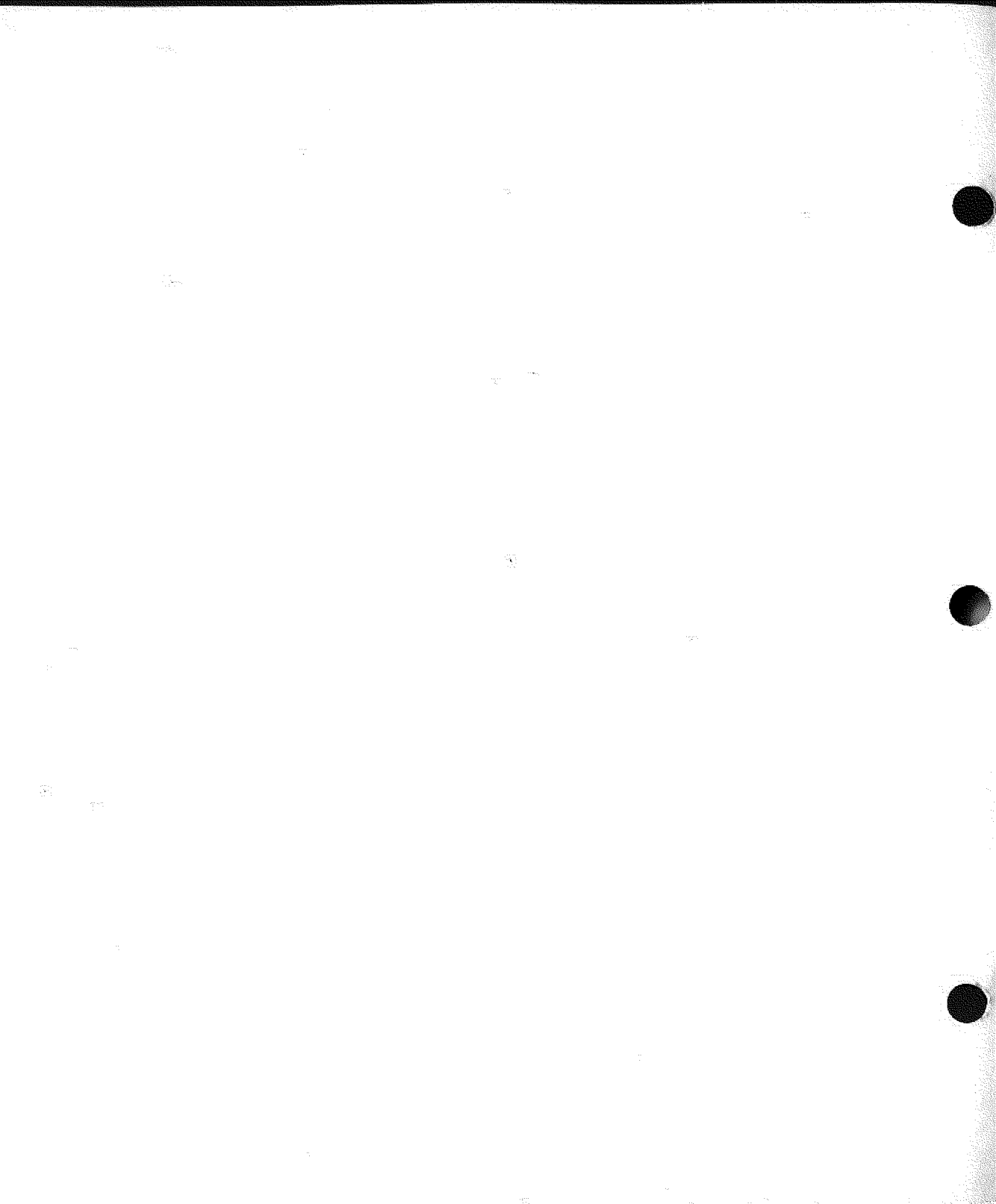
© Copyright International Business Machines Corporation 1983, 1989

この Technical Newsletter は、日本語 DOS ユーザーズ・ガイド 参照編を補足するためのものです。該当するページを差し換えたり追加する形式ではありませんので、上記参照編マニュアルと一緒にお使いください。

この Technical Newsletter は、日本語 DOS バージョン K3.4 の新機能（ローマ字入力状態での英数字、記号の直接入力）に関する情報を含んでいます。

プログラム番号が 5600-JYC, 5605-JYN, 5605-JZN の各プログラムに適用されます。

既版 TNL (N:SN18-2617, N:SN18-2603) は廃棄してください。



この小冊子は、日本語 DOS バージョン K3.4 で拡張された以下の機能に関して「日本語 DOS ユーザーズ・ガイド参照編」(N:SC18-2175)を補足するものです。

- ローマ字入力時の英数字/記号の直接入力

この冊子の記述は次のプログラム番号に適用されます。

5600-JYC

5605-JYN

5605-JZN

ローマ字入力時の英数字/記号の直接入力

従来のローマ字入力では、「ひらがな」または「カタカナ」シフトの状態では数字や記号を直接入力することができませんでした。これを可能にするには、CONFIG.SYS ファイルに次のコマンドを指定します。

DEVICE=[d:] [パス名] \$ROMAN.SYS

[d:] [パス名] には、\$ROMAN.SYS ファイルを含むドライブとディレクトリー・パス名を指定します。

注) \$ROMAN.SYS と同じディレクトリーに \$ROMAN.TBL (あいうえお順キーボード以外用) または \$AIUEO.TBL (あいうえお順キーボード用) のファイルが必要です。

対象となる英数字/記号をあいうえお順キーボード以外の場合を例にとって下図に示します。

	/	"	#	\$	%	&	'	()	~	£	々	—
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	^	—
				い							「	¢	」
											@	[
											」	ヶ	」
											:	:]
		つ								,	.	/	

キーボードによってはキートップ上の文字の配置が上の図と異なるものがありますが、入力できる英数字/記号の種類に変わりはありません。

# あ	または	#
3 あ		3 あ

入力される文字のサイズは、キートップ上での文字の位置と、そのときの画面のシフト状況により決まります。

(2)	(2) (4)	(1) 英数字
(1) (4)		(2) 英記号
(3)	(1) (3)	(3) かな
		(4) かな記号

	シフト			
	かな		カナ	
	全角	半角	全角	半角
<u>(1) 英数字</u> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - ^ @ [; :] , . / \	全角	半角	全角	半角 *1
<u>(2) 英記号</u> / " # \$ % & ' () ~	#	# *2	#	# *2
<u>(3) かな</u> -	#	全角	#	#
<u>(4) かな記号</u> め 々 ㄣ 『 ☪ 『 』 ケ 』 つ 、 。 ・	#	#	#	# *3

*1 \ は半角シフトでは入力できません。

*2 ~ は半角シフトでは入力できません。

*3 め 々 ㄣ 『 ☪ 『 』 ケ 』 はカナ半角シフトでは入力できません。

DOS ディスケットに含まれるファイル

ファイル名	意味	プログラム番号	5600-JYC	5605-JYN	5605-JZN
		使用機種	5550-M/P	5530-G/H 5540-M/P	5535-M
(IBMBIO.COM)	DOSシステム・ファイル(I/O 制御)		○ 1	○ 1	○ 1
(IBMDOS.COM)	DOSシステム・ファイル(システム制御)		○ 1	○ 1	○ 1
COMMAND.COM	コマンド処理プログラム		○ 1	○ 1	○ 1
AUTOEXEC.BAT	自動始動バッチファイル		—	○ 1	○ 1
\$SYSI216.FNT	全角 16ビット・フォント(JIS1&2/ユーザー・フォント)		—	—	○ 1
\$SYSID16.FNT	単漢変換辞書		○ 1	○ 1	○ 1
\$SYSHN16.FNT	半角 16ビット・フォント		—	—	○ 1
\$SYSHN24.FNT	半角 24ビット・フォント		○ 1	○ 2	—
\$SYSAC16.FNT	IBM PC フォント		—	—	○ 1
\$SYSAC24.FNT	IBM PC フォント		○ 1	○ 2	—
\$SYSIMAP.FNT	フォントマップ (フォント・ロード順の指定)		○ 1	○ 1	○ 1
\$SYSI224.FNT	全角 24ビット・フォント(JIS1&2/ユーザー・フォント)		○ 1	○ 1	○ 1
\$SYSI224.ROS	ユーザー・フォント格納用(漢字フォント・カード使用時)		○ 1	—	—
CONFIG.SYS	DOSプログラム構成ファイル		○ 1	○ 1	○ 1
\$BANKMGR.SYS	バンク・メモリー管理		○ 1	○ 1	○ 1
\$DSPK22.SYS	カラー・グラフィック用装置駆動ルーチンの非ロード		○ 1	○ 1	○ 1
\$JIS83.SYS	JIS83年版フォント用装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$LDISK.SYS	論理ディスク装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$PRN24.SYS	プリンター装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 2
\$PRN24C.SYS	プリンター装置駆動ルーチン		○ 1	○ 2	—
\$PRN24E.SYS	プリンター装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$PKKCVT0.SYS	文節変換装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$SKKCVT0.SYS	単漢字変換装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$VDISK.SYS	仮想ディスク装置駆動		○ 1	○ 1	○ 1
\$CLOCK.SYS	時刻表示プログラム		—	○ 1	○ 1

- 含まれる (右肩の数字はディスク番号を示す)
 — 含まれない

ファイル名	意味	プログラム番号	5600-JYC	5605-JYN	5605-JZN
		使用機種	5550-M/P	5530-G/H 5540-M/P	5535-M
ANSI.SYS	キーボード/画面拡張制御		○ 1	○ 1	○ 1
\$ROMAN.SYS	拡張ローマ字入力装置駆動ルーチン		○ 1	○ 1	○ 1
\$ROMAN.TBL	拡張ローマ字入力装置駆動ルーチン用テーブル		○ 1	○ 1	○ 1
\$AIUEO.TBL	拡張ローマ字入力装置駆動ルーチン用テーブル		○ 1	○ 1	○ 1
ASSIGN.COM	ドライヴ指定子の振り替え		○ 1	○ 1	○ 1
CHKDSK.COM	ディスクのチェック		○ 1	○ 1	○ 1
COMP.COM	ファイルの比較		○ 1	○ 1	○ 1
DISKCOMP.COM	ディスクの比較		○ 1	○ 1	○ 1
DISKCOPY.COM	ディスクの複写		○ 1	○ 1	○ 1
EDLIN.COM	行編集プログラム		○ 1	○ 1	○ 1
FORMAT.COM	ディスク初期化		○ 1	○ 1	○ 1
MODE.COM	画面/プリンターのモード設定		○ 1	○ 1	○ 1
MORE.COM	画面単位での表示		○ 1	○ 1	○ 1
PRINT.COM	印刷出力		○ 1	○ 1	○ 1
SYS.COM	システム転送		○ 1	○ 1	○ 1
TREE.COM	ディレクトリ構造の表示		○ 1	○ 1	○ 1
ROSFONT.COM	フォント探索経路変更		○ 2	○ 1	○ 1
BASIC.EXE	BASICインタープリター		○ 1	○ 1	○ 1
LABEL.EXE	ボリューム・ラベル設定		○ 2	○ 1	○ 1
DIAG.EXE	診断プログラム		○ 1	○ 1	○ 1
FIND.EXE	文字列検索		○ 1	○ 1	○ 1
SORT.EXE	分類		○ 1	○ 1	○ 1

○ 含まれる (右肩の数字はディスク番号を示す)

— 含まれない

ファイル名	意味	プログラム番号	5600-JYC	5605-JYN	5605-JZN
		使用機種	5550-M/P	5530-G/H 5540-M/P	5535-M
JMENU.EXE	アプリケーション・セレクター	—	—	○ 1	○ 1
JNOTE.EXE	メモ帳プログラム	—	—	○ 1	○ 1
JTOOL.EXE	道具箱プログラム	—	—	○ 1	○ 1
JCALC.EXE	電卓プログラム	—	—	○ 1	○ 1
JCLOCK.EXE	時計表示プログラム	—	—	○ 1	○ 1
JCALEN.EXE	カレンダープログラム	—	—	○ 1	○ 1
JREGS.EXE	プログラム登録プログラム	—	—	○ 1	○ 1
JMENU16.FNT	JMENU用16ビット・フォント	—	—	—	○ 1
JMENU24.FNT	JMENU用24ビット・フォント	—	—	○ 1	—
JMENU.MSG	JMENU用メッセージ	—	—	○ 1	○ 1
BACKUP.COM	ファイルのバックアップ	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
DEBUG.COM	デバッグ	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
LOGDISP.COM	エラー記録表示	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
RECOVER.COM	ファイルの回復	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
RESTORE.COM	バックアップ・ファイルの復元	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
SWITCH.COM	システムプログラムの切り換え	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
ATTRIB.EXE	ファイル属性の変更	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
EXE2BIN.EXE	EXEファイルをCOMファイルに変換	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
JOIN.EXE	ドライブをディレクトリに連結	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
LIB.EXE	ライブラリ管理プログラム	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
LINK.EXE	リンクプログラム	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
MSETUP.EXE	メモリ構成の設定	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
REPLACE.EXE	ファイルの置き換え	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
SHARE.EXE	ファイル共用	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
SUBST.EXE	ドライブの代用指定	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
XCOPY.EXE	サブディレクトリの複写	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
USERDICT.EXE	個人別辞書ユーティリティ	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
USRFONT.EXE	ユーザー・フォント作成/登録	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
\$USRDICT.DCT	個人別辞書	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2

○ 含まれる (右肩の数字はディスク番号を示す)

— 含まれない

ファイル名	意味	プログラム番号	5600-JYC	5605-JYN	5605-JZN
		使用機種	5550-M/P	5530-G/H 5540-M/P	5535-M
COMM.BAS	BASICサンプル		○ 2	○ 2	○ 2
SAMPLES.BAS	BASICサンプル		○ 2	○ 2	○ 2
TABLE.BAS	BASICサンプル		○ 2	○ 2	○ 2
TABLE.DAT	BASICサンプル・データ		○ 2	○ 2	○ 2
VDSK.LST	仮想ディスク・サンプル		○ 2	○ 2	○ 2
MOUSE.DOC	マウス駆動プログラム用サンプル・プログラム一覧		—	○ 2	○ 2
MOUSE.COM	マウス駆動プログラム		—	○ 2	○ 2
MOUSE.SYS	マウス駆動プログラム		—	○ 2	○ 2
MOUSE.LIB	マウス駆動プログラム用サブ・ルーチン・ライブラリー		—	○ 2	○ 2
T24C-1.BAS	BASICインタープリンター用サンプル・プログラム(カラー)		—	○ 2	—
T16M-1.BAS	BASICインタープリンター用サンプル・プログラム(単色)		—	—	○ 2
T24M-1.BAS	BASICインタープリンター用サンプル・プログラム(単色)		—	○ 2	—
T24C-C.BAS	BASICコンパイル用サンプル・プログラム(カラー)		—	○ 2	—
T16M-C.BAS	BASICコンパイル用サンプル・プログラム(単色)		—	—	○ 2
T24M-C.BAS	BASICコンパイル用サンプル・プログラム(単色)		—	○ 2	—
\$SPRN24.SYS	5250PC用プリンター装置駆動ルーチン		○ 2	○ 2	○ 2
\$SPRN24C.SYS	5250PC用プリンター装置駆動ルーチン		○ 2	○ 2	—
\$SPRN24E.SYS	5250PC用プリンター装置駆動ルーチン		○ 2	○ 2	○ 2
\$DRAWH24.SYS	グラフィックス駆動プログラム		○ 2	○ 2	—
GRAPHICS.LIB	グラフィックス駆動プログラム用ライブラリー		○ 2	○ 2	—
GRAPHICS.DOC	グラフィックス駆動プログラム補足説明		○ 2	○ 2	—
GRAPHICS.BAS	グラフィックス駆動プログラム・サンプル		○ 2	○ 2	—
GSAMPLE.EXE	グラフィックス駆動プログラム・サンプル		○ 2	○ 2	—
GSDATA1.GDD	グラフィックス駆動プログラム・サンプル・データ		○ 2	○ 2	—
GSDATA2.GDD	グラフィックス駆動プログラム・サンプル・データ		○ 2	○ 2	—
GSDATA3.GDD	グラフィックス駆動プログラム・サンプル・データ		○ 2	○ 2	—
PIF2GDD.EXE	PIFファイル変換ユーティリティ		○ 2	○ 2	—
\$SYSIGAS.TBL	グラフィックス駆動プログラム用テーブル		○ 2	○ 2	—
\$SYSIGJS.TBL	グラフィックス駆動プログラム用テーブル		○ 2	○ 2	—
\$PRN32.SYS	32ドット・プリンター装置駆動ルーチン		○ 3	○ 3	○ 2
UFNT32PR.COM	32ドット・ユーザー・フォント・ユーティリティ		○ 3	○ 3	○ 2

○ 含まれる (右肩の数字はディスク番号を示す)

— 含まれない

<空白ページ>



